

—ぐんま酪農—

関東生乳販連 群馬支所

No. **22**
2025.October



目次 Contents

-
- 2面 令和7年10月1日、ぐんま酪農へ権利義務承継し、新たなスタート
-
- 2-3面 第45回牛乳料理コンクール群馬県大会の報告について
-
- 3面 生乳生産管理チェックシートの記入についてもう一度見直しましょう!
-
- 4面 2025年度群馬県推奨種雄牛（下期）サブセンター置き精液情報
-
- 5面 PAG 検査の活用について
-
- 6面 令和7年度 会員別受託実績
令和7年度9月期 生乳販売実績表
-

—発行—

群馬県生乳生産者団体 ぐんま酪農業協同組合（関東生乳販連群馬支所）
群馬県前橋市二之宮町 1448 TEL027-220-2161 FAX027-220-2159

令和7年10月1日、ぐんま酪農へ 権利義務承継し、新たなスタート

県酪農組織再編により令和7年10月1日に本会はぐんま酪農へ一切の権利義務を承継し解散し、新たにぐんま酪農（関東生乳販連群馬支所）として業務開始しました。

本会は昭和41年4月、経済連、4酪農連合会、県酪連、8専門農協の14会員の連合会として発足しました。発足当時の県内酪農家戸数は15,130戸、飼養頭数48,890頭、生乳生産量144,439t、1戸当たりの飼養頭数は3.2頭、1頭当たり平均乳量4,694kgでした。現在は342戸、31,000頭、1戸当たりの飼養頭数は90.6頭、1頭当たり平均乳量は9,065kgとなり、この59年間で酪農経営は隔世の感があります。

このような変遷の中で、県内酪農組織再編については、平成10年に県酪農組織再編推進協議会を設

置し検討されましたが、総論は賛成されるものの各組合とも運営上の危機感はなく議論は進みませんでした。

平成30年、県央CSの整備により集送乳の合理化に取り組み、同年6月に酪農組織再編について決議され、集送乳経費削減や情報開示など早急に取り組むべき課題解決を優先的に進めながら、県酪農組織再編の協議を開始しました。

しかし、各組合の成立ちの違いや組合員数や生乳生産量が拮抗していることなどにより、全組合の合意は得られず再編検討も停滞しました。この状況を打開すべく乳販連が指定団体である関東生乳販売農業協同組合連合会の群馬支所となること、及び専門農協の再編を並行して推進することで再編協議が再開されました。その後再編への参加を延期した組合もありま

すが、関東生乳販連、全酪連及び関係機関のご協力をいただき、県酪農組織再編の第1段階を進めることができました。

今後も酪農家戸数の減少、経営環境の変化が進み、酪農生産基盤の急速な弱体化が予想されることから、更なる再編検討が必要と考えられます。

今回は再編の基本である、生乳流通の効率化、適切な生乳需給調整、酪農関連事業の効率的な実施体制を考え、県内統一すべき機能は関東生乳販連群馬支所として維持しながら、組織再編を進めるという点においてはうまく機能したのではないかと考えています。この第一歩が実を結ぶよう、組織の合理化メリットが発揮できるよう努め、真に酪農家の皆さんに期待される組織として機能するよう目指して参ります。どうか酪農家並びに関係機関の皆様には引き続きご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。

第45回牛乳料理 コンクール 群馬県大会の 報告について

この牛乳料理コンクールは、日常の食生活においても牛乳・乳製品をより活用してもらえよう、おいしく手軽にできる料理を提案してもらい、定着化を図り消費拡大につなげていくものです。

今年で45回目を迎える歴史ある大会で、毎年多くの方々から応募していただいています。今年は124名から124作品の応募があり、10月4日（土）に群馬県調理師専門学校において書類審査に選ばれた上位10名による実技審査が行われました。

審査委員長は佐俣俊彦氏（学校法人山崎学園東日本製菓技術専門学校校長）、審査委員には小野勝氏（学校法人山崎学園群馬調理師専門学校副校長）、吾妻絢子氏（県

農政部農業構造政策課経営技術係
主幹）、松本彩香氏（県健康福祉
部食品・生活衛生課食品衛生係主
任）の4名の方々に書類審査、技
術審査をお願いしました。

最優秀賞（県知事賞）には、秋
宗流風さんの「卵焼き器で簡単！
パリパリキャラメルバナナバー
ム」、優秀賞には中村仁美さんの
「パクっとレモングラタン」が選
ばれました。

この2名は、11月29日（土）に
開催される令和7年度牛乳料理コ
ンクール関東大会に出場いたしま
す。

関東大会に出場したレシピにつ
いては、ぐんま酪農（関東生乳販
連群馬支所）のHPに記載します
ので、ぜひとも調理し楽しんでく
ださい。



パクっとレモングラタン

10、中村 仁美

優秀賞



卵焼き器で簡単！
パリパリキャラメルバナナバーム

8、秋宗 流風

最優秀賞

生乳生産管理チェックシートの
記入についてもう一度見直しましょう！

生乳生産管理チェックシートの
重点指導項目のうち動物用医薬品
等の投与・出荷再確認記録につい
て再確認しましょう。

皆様に質問です、記帳・記録を
する目的は何だと思えますか？

投与記録を残すため？ どの医
薬品か第3者が分かるようにする
ため？ 記録が必要だから？ 有事
の際、トレースできるようにする
ため？ などありますが全て間違
いです。

答えは**休薬期間を守ったことを
証明するため**です。

※皆様に必要最低限記入してい
ただきたいこと

- ① 最終投薬日はいつか？
- ② 何の薬を用いたのか？
- ③ 休薬期間を守ったか？
- ④ 確認検査にはいつ合格した
か？
- ⑤ いつ出荷を再開したか？

もし生乳事故が起きた場合、生
乳生産管理チェックシートが自分
を守るものになります。

■動物用医薬品等の投与・出荷再開記録

生産者記入欄							
記録月日 (初回治療)	治療牛コード/号 ・耳標番号等	マーキング 等の実施	最終治療 月日	出荷できない 期間	残留確認検査 (陰性検査日) サンプルNo.	出荷日	診療記録・ 指示書の有無 指示書No.
4月 1日 (午前/午後)	052 耳標: 1234567890	有・無	4月4日 (午前/午後) ① 10時	生乳72時間 肉 日間 ③	4月7日 ④ No. 3	4/8 ⑤	有・無 No. 274

※赤枠内は獣医師の指示書があっても記載が必要です。(指示書に同内容を直接記入でも可)

獣医師からの診療記録・指示書等がある場合は、記入の必要なし。ただし、参照できるよう整理・保管。			
病名	使用薬剤名	治療方法	治療分房
	獣医師の指示書等が保管されてい れば記載の必要はありません。 ※無い場合は記載が必要です。②	静注、経口、筋注、注入、 挿入、ほか()	左前、右前 左後、右後

2025年度 群馬県推奨種雄牛（下期） サブセンター置き精液情報

乳 牛				
略 号	種雄牛名	GNTPI順位	精液価格	取扱い
5 H 60039	フクキチ	7	3,400	家畜改良事業団
3 H 58982	モデル	1	3,400	ジェネティクス北海道
5 H 60889	レールガン	21	2,300	家畜改良事業団

特 徴

5 H 60039（フクキチ）	成分オールプラス、乳量 +1,407kg、気質 101、産子難産率も6%と低め。
3 H 58982（モデル）	乳量 + 1, 235kg、GNTPI は前回に続き第 1 位、長命連産効果第 1 位、成分はオールプラス、在群能力・休細胞スミア・乳成分改良に優れる。
5 H 60889（レールガン）	前回からの継続牛、GNTPI は 3,386 と高く、空胎日数も 111 日と短く長命連産効果も 114,792 円と高い。

和 牛			
略 号	種雄牛名	精液価格	取扱い
P 黒 1188	和華久	4,400	家畜改良事業団
P 黒 1158	姫百合	3,400	家畜改良事業団
P 黒 1178	那奈雄	2,300	家畜改良事業団
P 黒 1272	雪之姫	1,300	家畜改良事業団
P 黒 1276	勝乃姫	1,300	家畜改良事業団

特 徴

P 黒 1188（和華久）	若百合 × 安福久 枝肉重量 6 位、ロース芯面積 1 位。和牛、F1 でも優秀な成績を出している。
P 黒 1158（姫百合）	福之姫 × 百合茂 枝肉重量 2 位、バラの厚さ 4 位。生時体重育種価は 6.062 と大きい。
P 黒 1178（那奈雄）	幸紀雄 × 安福久 新規種雄牛。未経産におススメ、脂肪酸組成 G 育種価において MUFA・オレイン酸の評価が高く脂肪の質が魅力。
P 黒 1272（雪之姫）	千寿剣 × 茂晴花 ※能力は未知数であり父が千寿剣のため未経産には注意が必要。
P 黒 1276（勝乃姫）	勝乃幸 × 福之姫 ※能力は未知数、G 育種価において生時体重がマイナスなため未経産牛にも使える。



○中部サブセンター（ぐ ん ま 酪 農） 027-266-7733
 ○あがつまサブセンター（J A あがつま原町） 0279-68-2532
 ○利根沼田サブセンター（J A 利 根 沼 田） 0278-25-8920



PAG 検査の活用について

PAG検査活用「STOP 空胎！」 キャンペーンのお知らせ

PAG 検査とは、
妊娠時のみ胎盤から
分泌される糖タンパク
(PAG: Pregnancy
Associated Glycoproteins)
の乳汁中の数値を
調べることで、
妊娠/空胎の確認
(或いは妊娠継続確認)
を行うものです。
牛への負担もなく、
妊娠確認の指標として
有効です。



【対象期間】

2025 年 11 月 4 日 (火) 検査から
2026 年 2 月 27 日 (金) 検査まで

【内 容】

期間内の PAG 検査料を **すべて無料**



サンプル採取
(容器の八分目程度)

サンプル管	検査日
火曜日	金曜日
水曜日	
木曜日	
金曜日	火曜日
土曜日	
日曜日	
月曜日	

※検査日午前 9 時時点で、生乳検査センターに
届いているサンプルで検査を行います

＼ 酪農家のみなさまへ ＼

**酪農経営の収益性向上のため
PAG 検査を活用してください**

令和7年度 会員別受託実績

単位：kg・%

会員名	第 1 四半期		第 2 四半期（7～9月）								実績累計	
	4月～6月		7月		8月		9月		計			
	実績①	前年比	実績	前年比	実績	前年比	実績	前年比	実績②	前年比	①＋②	前年比
全 農 群 馬	13,225,367.3	94.7	4,020,872.9	96.8	3,793,454.1	96.8	3,662,203.6	95.9	11,476,530.6	96.5	24,701,897.9	95.5
ぐんま酪農	8,023,235.4	94.6	2,418,797.2	92.7	2,289,487.3	92.9	2,232,066.7	93.7	6,940,351.2	93.1	14,963,586.6	93.9
あがつま農協	4,063,543.5	99.1	1,327,545.5	100.5	1,294,433.0	99.8	1,225,648.4	98.0	3,847,626.9	99.5	7,911,170.4	99.3
群 中 酪 農	15,853,418.8	102.0	4,992,895.4	102.0	4,867,725.6	101.4	4,770,151.3	101.4	14,630,772.3	101.6	30,484,191.1	101.8
合 計	41,165,565.0	97.8	12,760,111.0	98.3	12,245,100.0	98.1	11,890,070.0	97.8	36,895,281.0	98.1	78,060,846.0	97.9

令和7年度9月期 生乳販売実績表

関東生乳販売農業協同組合連合会

会員別販売数量

単位：kg・%

会員名	9月期実績	前年同期実績	前年比	9月末実績（累計）	前年同期実績	前年比
茨城県酪連	13,312,081	13,176,495	101.0	88,582,440	88,521,823	100.1
酪農とちぎ農協	20,086,026	19,456,372	103.2	129,135,889	126,137,378	102.4
栃木県酪農協	5,923,046	5,990,237	98.9	39,327,122	40,140,152	98.0
栃木県計	26,009,072	25,446,609	102.2	168,463,011	166,277,530	101.3
群馬県牛乳販連 （関東生乳販連群馬支所）	11,890,070	12,155,134	97.8	78,060,846	79,713,773	97.9
全農埼玉県本部	1,398,735	1,438,828	97.2	9,648,963	9,908,468	97.4
埼玉酪農協	1,211,638	1,156,746	104.7	8,291,491	8,197,378	101.1
埼玉県計	2,610,373	2,595,574	100.6	17,940,454	18,105,846	99.1
千葉県酪連	13,848,606	13,537,567	102.3	93,518,193	91,052,188	102.7
東京都酪農協	546,443	535,847	102.0	3,871,760	3,654,883	105.9
神奈川県酪連	1,501,220	1,621,767	92.6	10,570,182	11,168,271	94.6
山梨県酪農協	1,019,286	957,776	106.4	6,455,286	6,223,541	103.7
静岡県経済連	6,014,452	6,188,799	97.2	40,648,002	41,143,016	98.8
合計	76,751,603	76,215,568	100.7	508,110,174	505,860,871	100.4

用途別販売数量

単位：kg・%

用途	9月期実績	前年同期実績	前年比	9月末実績（累計）	前年同期実績	前年比
飲用牛乳等向け	62,488,154	61,527,579	101.6	381,064,693	380,171,072	100.2
（うち学校向け）	11,154,612	11,017,547	101.2	51,000,221	52,070,488	97.9
はっ酵乳等向け	10,742,858	11,034,369	97.4	67,461,603	70,331,555	95.9
脱脂粉乳・バター等向け	2,497,511	2,565,460	97.4	53,216,531	48,556,033	109.6
（うち委託加工向け）			—			—
生クリーム等向け	912,241	960,110	95.0	5,589,564	6,017,289	92.9
チーズ向け	110,839	128,050	86.6	777,783	784,922	99.1
全乳哺育向け			—			—
総受託乳量	76,751,603	76,215,568	100.7	508,110,174	505,860,871	100.4
脱脂粉乳・バター等向け比率	3.25	3.37	▲0.12	10.47	9.60	0.87

※生クリーム等向けには濃縮乳向け用途を含む

※脱脂粉乳・バター等向け比率の前年比欄は前年同期実績との差